

＜ もくじ ＞	
1. 2021年度連続講座「安心の長寿社会に向けて」のお知らせ（再掲）	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 研究会からの概要報告	3
4. 事務局からのお祝い	5

1. 2021年度連続講座「安心の長寿社会に向けて」のお知らせ（再掲）

人生100年時代の幕開けが、新型コロナウイルスの感染拡大と重なるとは、誰もが想像しなかったでしょう。長寿が当たり前とされていたのに、突然コロナによって、その人生を終わる人も少なくありません。

この講座では、ソーシャルディスタンスを維持しながら良い人間関係を保つには、人生の最終段階を安心して迎えるには、そして愛する人と死に別れた後どう立ち直るかなど、人生の危機的な出来事を乗り越えるためのノウハウが詰まっています。多くの方にご参加いただき、これからの生き方の参考にさせていただければ幸いです。

第2回 テーマ：終活互助～①住まい～

日 時：11月13日（土）14：00～16：00

講 師：川村匡由（一般社団法人シニア社会学会理事、武蔵野大学名誉教授、行政書士有資格、福祉デザイン研究所（任意団体）所長、地域サロン「ぷらっと」主宰、山岳紀行家（元日本山岳会員）



第3回 テーマ：グリーンケア ～哀しみとともに生きる～

日 時：12月18日（土）14：00～16：00

講 師：中村昌子（一般社団法人シニア社会学会運営委員、市川市教育委員会外国語指導員、地域猫活動ボランティア、グリーン専門士、ペットロス専門士、外国語活動指導員）



第1回は終了いたしました。

- 1) 開催方法：3回ともZoomによるオンライン開催
- 2) 参加費：参加回数にかかわらず一律1,000円
- 3) 申込方法：Peatixによる申し込み、あるいは、シニア社会学会口座への振込
- 4) 締め切り：12月17日（金）

※ Peatix での申込の場合：申込方法はHP掲載のチラシに詳細を記載してあります。説明をよく読んでお申し込み下さい。

初めて Peatix を使われる方は、Peatix (<https://jaas.peatix.com/>) にアクセスし、右上の「ログイン/新規登録」からアカウントの登録をしてください（メールアドレスとパスワードを入力します）。パスワード設定には4つの条件（①アルファベット小文字と大文字を含める、②算用数字を入れる、③#、%などの記号を入れる、④計8文字以上とする）、のすべてを満たしてください。また、Twitter/Facebook/Google/Apple アカウントをお持ちの方は、いずれかからでもログインできます。

※ シニア社会学会口座への振込みの場合：

振込口座：

郵便振替：口座番号 00110-2-123821 口座名：シニア社会学会

銀行振込：みずほ銀行 渋谷支店 普通口座 1322265 口座名：一般社団法人シニア社会学会

振込後シニア社会学会 eメール jaas@circus.ocn.ne.jp に申し込んだ旨ご連絡ください。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第15回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年10月24日(日) 13:30~17:00
- 2) 場 所：きゅりあん(品川区立総合区民会館)第2特別室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会
- 4) テーマ：心理劇

びしょうざ

劇団 「B笑座」第4回。

「最もへ?な劇団」です。

認知症を体験することで、認知症に学び、ビジュアルリゼーションすることで新たな発見が生まれます。尚、希望者は「回想」を行うために冊子『心づもり』を提供しています。

劇団員募集しています。コロナ禍ということで昼間に行います。Zoomの参加もできます。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme_masumi@yahoo.co.jp) 迄お願い致します。

(2) 第26回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年10月26日(火) 17:00~20:00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) テーマ：

① 「薬の飲み方 薬と付き合い方 薬よもやま話」

ファシリテーター：S10年生まれ この道50年、現役薬剤師：和田久子さん

② 読書会：「THE LONELY CENTURY なぜ私たちは『孤独』なのか」

(ノリーナ・ハーツ著、藤原 朝子訳、ダイヤモンド社)

※ 参加ご希望の場合は、前日までに中村 nakamurayoshiko6@gmail.com までお気軽にご連絡ください。

(3) 第134回「社会保障研究会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年10月27日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：東島 弘子(国際医療福祉大学大学院教授)
- 3) テーマ：「高齢者の福祉用具利用から見た介護保険制度の課題」
- 4) Zoom で開催いたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。

阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp 小島みさお kojima.misao01@gmail.com

※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

(4) 第75回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年10月28日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：発表と討議 — 「『世間』は日本にしかない。— 著書『目くじら社会の人間関係』(佐藤直樹著・講談社+α新書刊他を読んで)」
- 4) 発表者：大下 勝巳
- 5) その他：第2テーマとして、「メール通信『つぶやき：近況便り』企画」のHPへの展開につ

いて意見交換します

6) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) までお願い致します。

(5) 第25回「社会情報」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2021年11月24日(水) 15:00~17:00

2) 場 所：Zoom開催

3) 概 要：

「コロナ禍でICT活用が加速、社会を変える」総括あるいは「AIと情報処理」(安田和紘さん)

※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

3. 研究会からの概要報告

(1) 133回「社会保障」研究会の報告

1) 日 時：2021年9月15日(水) 18:00~20:00

2) 報告者：原田謙(実践女子大学人間社会学部教授)

3) テーマ：「エイジズムの視点から世代間関係を考える」

4) Zoomで開催。参加者 17人

「年齢にもとづく偏見・差別」であるエイジズムは、どのように測定され、何によって規定されているのだろうか？また、職場における世代間関係は、高齢者のメンタルヘルスにどのような影響を及ぼしているのだろうか？今回の研究会では、これらの「問い」を中心に、エイジズムの視点から世代間関係について議論した。

まず、高齢者に対するエイジズムは、「嫌悪・差別」「回避」「誹謗」の3因子でとらえることができる。そして日頃から親しい高齢の親族や仕事仲間数が少なく、加齢にかんする知識が乏しく、生活満足度が低い若年者ほど、エイジズムが強かった。

次に、「もうひとつのエイジズム」とよぶべき高齢者の若年者に対する否定的態度について、若年者との接触頻度が少なく、次世代への関心が低い高齢者ほど、若年者を嫌悪・回避する傾向がみられた。

そして、職場における世代間関係とメンタルヘルスについて、職場でエイジズムを経験している高齢就業者ほど、職場満足度が低く、その職場満足度の低さが抑うつ傾向の高さにつながっていた。一方で、若年世代へのサポート提供は、職場満足度の高さをもたらしていた。

さらに、今後の課題として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年齢によって分断された社会が強化されてしまう可能性や、中高年女性の労働力率の上昇に伴い、エイジズムとセクシズムが重複するGendered Ageismと呼ばれる視点の重要性が指摘された。

文献：原田謙(2020)『「幸福な老い」と世代間関係——職場と地域におけるエイジズム調査分析』勁草書房。

(原田 謙記)

(2) 第25回「ライフプロデュース」研究会の報告

1) 日 時：2021年9月28日(水) 17:00~19:00

2) 場 所：Zoom開催 参加者7名

3) テーマ：今回は、前半、それぞれの近況をじっくり、ゆっくり報告し合い、残りの時間で、読書会と、現在、MOT(東京都現代美術館)で10月17日まで開催の【GENKYO 横尾忠則展】について、情報交換いたしました。

(読書会 課題図書)『他者の靴を履く アナーキック・エンパシーのすすめ』プレイディみかこ(単行本 文藝春秋BOOKS 2021年6月)

<https://books.bunshun.jp/ud/book/num/9784163913926>

【前半：メンバー近況の分かち合い】

共著で執筆中のSさん、担当するテーマは「医療現場での接遇」一、日本語教師の活動をオンラインで再開する準備や、11月中旬開催予定のシンポジウムの準備で忙しいOさん、芝居鑑賞、俳句、源氏物語講座などで忙しいYさん、秋より浜町での集いを主宰再開、9月はスマホアプリーで英文法を集中して毎日学んでいたWさん、98歳の実母の介護から看取りを通して傾聴の大切さを痛感しているTさん、家族を介護中、サポートする側の感情コントロールの難しさを語られたK子さん、孤老の姉が突然、職場で倒れ緊急入院した経緯とこれからの相談話、N。(7人の近況を分かち合う時間は計90分、温かな時間でした。)

【後半：読書会】

- ◆『他者の靴を履く アナーキック・エンパシーのすすめ』ブレイ ディミカコ の感想
 - ・福岡伸一氏の『『自由』になれば、人間は『他者の靴を履く』ことができると思うんです。』(p.36)に共感。他者の靴を履くことは、時に危険を伴う。例えば、女性問題でDVする加害者の気持ちに感情移入したり、家庭内で忤度し、顔色をうかがい合ってしまう、お国の為にとEmpathyが使って操作され、加担していくなど。だから、自分を持ち、自由でなければならぬ。Empathy教育とは、「生きていく主権は我にあり」ということだと思ふ。(Yさん)
 - ・ハンナ・アーレントの「人間的な事柄の絡み合い」(すなわち他者との会話や相互理解)という言葉を用いて、「人間は他者と言葉を交わすことによって自己認識に至る言語的存在であり、人間の自意識は孤独の中で自然に出来上がるものではなく、他者との関りがそれを作っていくのだ。」(p.51)なるほどと共感した。リタイア後、他者との関りで自分勝手になったり、「社会の中の自分」が欠如したり。また、私たちが「これが組織」という観念や、「当たり前」「これはこうでなければならない」と思うことが、若者と言葉を交わすときなどギャップがあり、「こういう考えがあるのだ」と他者を受け入れることは難しいと感じている。(Sさん)
 - ・東日本大震災で、行政やボランティアの物資支援が有難迷惑で、望んだものが来ない、思い込みやマニュアル通りでミスマッチだったという話を、気仙沼で被災された方から伝え聞いた。カウンセリングでは、相手に入り過ぎると自分を見失う。本気で寄り添うには覚悟がいる。往年のエレジー? 「かけてくれるな薄情け。一同盛り上がり(笑)(Tさん)
 - ・著書の最後に「エンパシーを育てる授業」(p.283)が紹介されているが、日本ではどうなのだろうか。(K子さん)
 - ・日本の小学校では、総合の授業(Integrated Studies)というのがあり、担任が自由にテーマを決めて子どもたちにディスカッションさせることもあるが、Empathyに特化した教育については聞いたことはない。(N)
 - ・この本を読む前、昨年2020年春に、「Grief ケア、ペットロスケアの相談室」の名前を「Empathy」と名付け開業届を出したが この本をじっくり読むことで、更に店舗名に込めた思いが深まると思っている。皆さんの感想は参考になりました。(N)

(3) 第24回「社会情報」研究会の報告

1) 日 時：2021年10月6日(水) 15:00~17:00

2) 場 所：Zoom 開催

3) テーマ：

①連続講座第一回(講師：平井さん)での研究会メンバーサポートについて

連続講座第一回では、社会情報研究会メンバーがブレイクアウトルームのサポートと各ルームの司会進行をする。その他、運営補助も担う。

②「高齢社会を支えるTech 最新情報」(八巻さん)

あらかじめ配布してある、資料に沿って説明があり、次のようにまとめられました。

- ・高齢社会を支えるテクノロジーは、従来のハード開発型からデータ活用型へと拡大
- ・介護ロボットと業務支援システムの連携、IoTによる地域全体の見守りなどネットワーク化も進む
- ・デジタルを使いこなす高齢者が増え、「高齢者による、高齢者のための」サービス開発が始

まっている

- ・他方で、教育や支援者マッチングなど高齢者のDX 適応を支援するサービスも盛んになっている
- メンバーからのコメントとして、
- ・かなり前からICT による見守りはビジネスシーンに出てきているが、自治体などとの共同事業以外で成功例を見ない
 - ・また、ICT のみ導入しても、実際の支援につながらない、人のネットワークの中に導入してこそ活きるのではないか
 - ・子供の見守りはビジネスになるが、ICT での高齢者見守りはビジネスにならない。自治体などと一緒にやらないと無理
 - ・技術は道具でしかない。誰のための利便性、誰を幸せにする機械なのか？そこが問題。ICT を使った見守りは見守る側に立った利便性を求めている、見守られる側にとっては便利なのか など、ありました。(森 記)

4. 事務局からのお願い

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

コロナ禍中、各種ご連絡をメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・e メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願いいたします。

<11月JAAS Newsの発行日>

次回JAAS News 第267号の発行日は、11月24日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、11月17日（水）までにeメール添付にてお願いいたします。

<JAAS News 編集レイアウトをお手伝いして下さる方募集>

毎月お送りしているJAAS News は、原稿が集まった後、Microsoft Word を用いて編集・レイアウトを行い、皆様にお届けしています。ドラフト作成までは、事務局内で持ち回りで行っていますが、編集・レイアウトを担う人材が限られており、業務集中をきたしております。会員の皆様のなかで、Microsoft Word を用いた編集・レイアウトの経験をおありの方に、無償ですがお手伝いをお願いできたらと思っております。手伝いをしてもいいと思われる方がいらっしゃいましたら、その旨、シニア社会学会事務局あてに、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp にてご連絡ください。よろしくをお願いいたします。

<事務所の開室について>

10月中については、27日（水）は開室し、それ以外は休室となります。その後は様子を見て開室日程をホームページにてお知らせします。休室中は、電話・FAX はご利用できませんのでご容赦ください。ご不便をおかけしますが、ご用件、お問合せは、出来るかぎりeメールでお願いいたします。会員の皆さまは、今後とも十分な注意を払って慎重にお過ごしいただきますようお願いいたします。
シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人シニア社会学会・事務局（水、および月または金オープン）
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202
電話&FAX：(03) 5778-4728
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>